北海道スポーツ協会加盟競技団体各位
各　教　育　長　　様
各　道　立　学　校　長　　様
市町村教育委員会教育長　様
北海道中学校体育連盟　　御中
北海道高等学校体育連盟　御中
関　　係　　各　　位

謹啓

厳暑の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年度もご案内いたしましたが、女性に特有の健康問題がスポーツパフォーマンスに影響を及ぼすこと、さらには、スポーツパフォーマンスのみならず生涯における心身の健康に影響を与えるということが1990年代より知られるようになってまいりました。国際オリンピック委員会（IOC）は、2014年「男女に共通したスポーツにおける相対的エネルギー不足（RED-S)」の概念を提唱し、その中で「女性アスリートの三主徴（相対的エネルギー不足、無月経、骨粗しょう症)」と呼ばれる状態が女性アスリートにとって重要な問題であることを挙げています。日本スポーツ協会もここ数年、指導者の資格更新講習にハラスメント等倫理問題または女性アスリートの健康問題を必須とするよう提言されております。

一方で、女性アスリートの健康問題についての一般的な認知度はまだまだ低く、選手一人一人が体調管理やその相談先について苦慮していることもいくつかのアンケート調査などから明らかになっております。また、チームや競技団体などの単位でもまだまだ認知されていないことが、国立スポーツ科学センター、近畿大学、順天堂大学の指導者に対する共同研究や北海道スポーツ協会の医科学研究でも発表されております。

私共、女性アスリート健康サポート北海道（Female Athlete Health Support Association in Hokkaido: FAHSAH）は、北海道、北海道スポーツ協会、北海道医師会ほか、大学産婦人科講座など多くの後援、団体会員の支援を受け、スポーツ関連の資格を持つ婦人科医と公認スポーツ栄養士などを中心メンバーとして活動するボランティア任意団体です。皆様の活動、所属されている選手、学生の皆様の健康維持促進に何らかのお手伝いをできれば幸いに存じます。

皆様の一層のご隆盛を衷心よりお祈り申し上げ挨拶にかえさせていただきます。

謹白

令和８年８月吉日
女性アスリート健康サポート北海道
会長　佐久間　一郎